令和7年7月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和7年7月22日(火) 午後2時00分
閉 会 : 令和7年7月22日(火) 午後3時03分
会 議 場 : 秩父市役所本庁舎3階庁議室

出席委員 : 2番委員 萩原 重範
3番委員 土橋 慶子
4番委員 根岸 和美

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 山越 達也
事務局次長兼学校指導監 飯野 芳伸
事務局次長兼教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 峯岸 克典
保健給食課長 内海 典子
文化財保護課長 伊藤 暁
教育研究所長 佐々島忠重

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和7年7月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、2番委員及び4番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和7年6月25日に開会された6月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 各小・中学校は17日に3校、18日に残りの18校が終業式を迎え、児童・生徒は8月24日まで夏休みとなる。また、今年の埼玉県内では、百日咳の感染者が多く、秩父地域は特に多い。一方で百日咳の感染ではないが、数人が発熱等の症状を訴え、大滝げんきプラザでの林間学校を延期した小学校が1校あった。

わいせつ・盗撮に係る教員の不祥事が後を絶たないため、臨時の県教育長会議がウェブで開かれ、事故防止の根絶について指導を受けた。秩父市からは事故者や被害者を出さないよう、今後も指導の徹底を図っていく。

7月20日は秩父市伝統文化に親しむ日であり、子どもたちが主役の祭りである秩父川瀬祭は、各山車町会が熱中症対策に配慮して山車の曳行時間を大幅に縮小し、大きな事故もなく無事に開催された。伝統文化に触れる良い機会となり、街中は若い方を中心に賑わっていた。従来、8基の笠鉾・屋台を中村町で行列を見送っていたが、今年は3基のみであった。

最後に、中学生の部活動の県大会が始まっているが、19日に行われた新体操競技で秩父第二中学校が団体第5位となり、作年度に引き続き、関東大会出場権を獲得した。

2 番 委 員 : 1点、教員の不祥事について、意見を申し上げる。教員による児童・生徒へのわいせつ事案が相次いでいるが、本市ではそのような事案が上がっていない点では、水際で予防ができていると思う。一方でこうした事案は、いつ起きてもおかしくはないため、絶えず未然防止の対応や職員に対する研修は行っていかなければいけないと思っている。これは学校の安全・安心に関わる問題であり、教育に対する信頼を大きく損ねる非常に由々しき問題だと思う。このことは、最近急に出てきたわけではなく、かつては小・中学校はわいせつとの関係が多く、高校は部活動を中心に体罰で教員の不祥事として話題になっていた。最近これほど頻繁にこういう問題が発生する点については、さまざまな部分が少し歪んできているのではないかと思っている。臨時の校長会や教育長会議等を通して文科省からの指示・伝達等があったと聞いており、未然防止に向けた校内点検や整備、チェックリストまで作成したと聞いている。夏休み前には各学校で校内の緊急点検を行い報告を求めているようであるが、本市については特に問題がなかったのか、後で伺いたいと思う。

この原因の1つには、児童・生徒と教員との関係が近くなりすぎて、家族や友達のような関係になっていると。私はそこに一番大きな問題があるのではないかと思う。学校はあまり厳しいことを言いすぎではないかということで、指導が後手に回ってしまい、その中に油断というか、一部の先生方に隙を与えるような職場環境になっていないかどうか。また、特に体育祭や学校行事の中で、先生方のカメラやスマホのシャッターを切るのが余りにも多いと。私は何度もそういうことについて指導をした。本来は生徒の指導、安全できちんとした行事が行えるように、見守る側なのにカメラマンになっている。そういう点でも、日常的にカメラやスマホというものが、生徒に向けられすぎているか、きちんと規制をかけるべきだと。適正なカメラやスマートフォンの使い方について、勤務時間外や職員室の中では、使っても良いが、授業中等はスマートフォンを自分の机の上に置いておくとか、その辺についての規制というか、このような事案が、二度と発生しないように、指導していくべきと私は思っている。また、教育委員会の中でも、検討されていると思うが、指導が学校現場にもしっかりと伝わるような形で指導いただきたいと思う。

3 番 委 員 : 1学期も終了し、川瀬祭も終わり、子どもたちも夏季休暇に入った。1学期後半は二度目の授業参観や学校公開などがあり、4月初めの授業参観よりも学校やクラスにも慣れた様子で、授業中も楽しそうに受け、元気な声で発表したり答えたりしている姿が見受けられた。

夏休みの宿題の課題について、学校によってはサマーブックの冊子等がなく Chrome book のみの学校があり、学童内に W i e F

iがないので学童で宿題ができないこともあり、Chromebookのみではなくて、冊子のものも1つは入っていると助かるという声を聞いた。

梅雨も明けて暑い日が続く、水の事故や熱中症のニュースも多くなっている、活動をするときは事故等に気をつけて、楽しい夏休みを過ごして、中学生も部活動など炎天下や暑い中での活動も増えていると思うので、体調に気をつけて夏休みを過ごして欲しい。

4 番 委 員 : 3点報告する。

1点目、6月26日、令和7年度市町村教育委員会研究協議会前期にオンラインで参加した。2つのテーマについて分科会で発表し、グループに分かれて協議を行った。第1のテーマは「地域と学校の連携・協働について」、第2のテーマは、「教育委員会の機能強化・活性化について」であった。参加者の積極的な姿勢により活発な意見交換が行われ、地域の特性や強みが反映された活動をしている地域の少なくないことに感銘を受けた。地域のため、児童・生徒のためという熱意も共有でき、大変勉強になった。

2点目、7月10日、秩父第二中学校を訪問した。特に印象深かったのは3年生の学級活動の時間であった。生徒の自発性・主体性を尊重した話し合いが行われ、その熱心さと一体感は勉強だけではない、学校活動の重要な柱が何であるかを物語っていた。また、他の授業でも教師の問いかけから、考え答えるというデジタル教材やテレビモニターに頼らない、発音や思考、返答の形を随所に拝見し、生徒の力を引き出そうとする先生方の熱意を感じた。環境面では、中学生が体格が大きくなっていることから、37人、38人クラスは、季節柄ということもあるが、密集度が気になった。空き教室も多くあるようなので、分散をしたり少人数クラスを設けたりという工夫をしながら活動されてはどうかとも考えた。

3点目、7月20日、秩父川瀬まつりが催行された。屋台町会では多くの児童・生徒が祭りに参加し、見物をしていた様子を拝見した。郷土の文化を肌で感じ、また、歴史を学ぶ何よりの機会であると感じた。この祭りが、秩父の児童・生徒の心を豊かに育てているのではないかと間近で拝見して、考えた次第である。

(2)事務局からの報告事項

事 務 局 長 : 大滝地区の落石について報告する。

7月11日(金)、夜10時頃、国道140号の大滝地内大輪で落石があり、国道が約8.5Kmにわたり通行止めとなっている。最大2m×1.2mの岩が約70m上の方から崩落して、ガードレールやアスファルトを破壊、この崩落による人的被害はない。県土整備事務所

の調査では、まだ複数の岩が崩落する可能性があり、復旧まで約4ヶ月程度かかる見込みとのことである。教育委員会としては、スクールバス自体には、4世帯9人が乗っているが、この落石により、スクールバスの運行ができなくなり、該当する児童・生徒、2世帯5人について、1学期終了間近だったため、2世帯とも両親による林道を使った送迎で対応させていただいた。ただし、この林道はすれ違いができないため7月16日(木)に信号を配置して安全確保に当たっている。また、大野知事が、昨日大滝にお越しいただき、現場の方々を激励された。また、完成前ではあるが、大滝トンネルを7月30日頃をめどに通行できるということで、2学期以降については、スクールバスの大滝トンネル使用を検討していきたい。

学校指導監：3点報告する。

1点目、7月11日に行われた埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課の秩父市教育委員会訪問についてである。本市の学校管理に係る概要説明を行うとともに、県からは初任者の育成、新しく入れたフレックスタイム制の実施、教職員の不祥事根絶、教職員の働き方改革の推進、今後の管理職志願者の確保、スクールロイヤーの活用等について説明があり、秩父市教育委員会からは県教育局へ要望を伝えた。

2点目、児童・生徒性暴力に係る事故防止についてである。名古屋市、所沢市で、児童の盗撮に係る教職員の逮捕事案が発生した。これを受け、7月9日、市の校長会議で、教育長、学校指導監より事故防止に向け指示伝達をした。具体的には、児童・生徒への性暴力等の防止のための校内研修を実施すること。スマートフォンを教室に持ち込まない。個人端末で子どもの写真を撮らない。学校のカメラであっても子どもの写真を許可なく、校外に持ち出さない。このことについて周知徹底というを話している。また、生徒指導上、個室に、教員と児童・生徒が対一という局面は絶対作らず、必ず複数対応で指導するという話をさせていただいた。

今回の事故を受け、県教育局が7月16日、オンラインで、全県の臨時校長会議を開催した。また、小・中学校人事課長からは、全小・中学校で自校の緊急点検を行い、結果を保護者に周知するよう指示があり、この指示を受け、市内21校では、7月17日までに校長自らが校舎内外の点検を実施し、その結果を各校のホームページ等を通じて情報発信している。なお、緊急調査を実施し、全校異常なしで報告しているが、未然防止に向けた改善点は、各校いくつかあったので、至急改善するよう教育委員会から指示している。

3点目、1学期の終業式についてである。7月17日(木)に小学校3校が、また、翌日18日(金)に小学校10校と中学校8校が1学期の終業式を実施、無事に今学期の終了した。夏季休業日は21日から

8月24日まで、翌日8月25日が2学期の始業日となる。なお、8月11日(木)から8月16日(火)まで学校閉庁日となる。

教育総務課長 : 大規模改造工事の進捗状況について報告する。まず、大田中学校校舎大規模改造工事は、ゴールデンウィーク明けの着工以来、概ね順調に作業が進んでおり、外壁及び屋上防水改修と並行して、内装改修工事に取りかかっている。現在、家具の設置等を実施しているが、今後の工事に掛かる資材搬入に遅れが生じることが判明したことから、当初予定していた夏休み期間中の工事期間を2週間程度延長し、9月8日(月)から新校舎での授業を再開することになった。なお、この件については、今月の中旬に保護者にも通知をした。

次に、尾田蒔中学校の体育館大規模改造工事は、6月初旬の着工以来、順調に進んでいる。外壁改修工事及び防水工事と平行して、現在、内部の塗装工事等を実施している。工事を進める中で、外壁のクラック補修箇所の増加やステージ幕類が想定以上に老朽化していることが判明し、設計変更による工事費の増加が見込まれるが、当初の予定である体育祭前の10月中旬までには、完了する見込みである。

学校教育課長 : 2点報告する。

1点目、学童保育室についてである。学童保育室は本日から、夏休み対応で朝7時45分から夕方6時45分まで、1日保育を行う。夏休み期間中は教員支援業務員、会計年度任用職員が学童への勤務となり、人員を増やして対応する。猛暑が続いているので、外遊びの時間は朝行うなど、工夫をして熱中症に配慮しながら、また、食物アレルギーを持っている児童が増えているので、おやつ提供等を最大限の配慮をしながら、安全安心を第1に保育を実施していく。

2点目、7月8日に開催された令和7年度第1回秩父市障害児就学支援委員会についてである。秩父市障害児就学支援委員会は、市内の障がいを持った幼児・児童・生徒の障がいの種類及び障がいの程度を判断すること、並びに就学に係る教育的支援を行う組織である。今回の就学支援委員会では、委員長である新井クリニックの新井勝院長から、主にADHDについて講義をいただくとともに、昨年度の就学判断を行った児童・生徒、小学校325名、中学校131名、合計456名の就学状況についての報告が行われた。来年度の就学等の判断を行う第2回障害児就学支援委員会については、11月頃に開催をする予定である。

保健給食課長 : 2点報告する。

1点目、7月7日(月)に開催された第1回秩父地区結核対策合同委員会についてである。この委員会は、児童・生徒の結核対策を推進するため、秩父地域1市4町の教育委員会で組織されており、年3回の予定で開催されている。委員長は、熊木町蓮沼医院の蓮沼紀一先生に

務めていただいている。各学校から報告のあった精密検査対象児童・生徒の管理方針などを検討している。今回の委員会では、対象者はいないが、文部科学省の「学校における結核対策マニュアル」では、結核高まん延国での居住歴が6ヶ月以上の児童・生徒の入学及び転入時には、精密検査の対象とすることとされており、この委員会の対象となる。

2点目、感染症の情報についてである。百日咳が流行しており、秩父市の、り患率が大変高く、6月の情報であるが、小学校では5校15名、中学校では4校17名、合計9校32名の百日咳の感染症発生報告があった。

文化財保護課長 : 埋蔵文化財に関連する事業について、2点報告する。

1点目、現在、埋蔵文化財の本発掘調査を実施している。これは本年4月、黒谷地内の開発行為に伴う埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査で、縄文時代の住居跡及びそれに伴う遺物が確認されたことにより、実施している調査である。今月7日(月)から着手し、8月1日(金)までの4週間にわたって実施するもので、現段階では、遺構として縄文時代の住居跡・土坑・溝などが検出されている他、遺物としては縄文土器の破片や石器などが検出されている。場所は、国道140号線沿い、セブンイレブン黒谷店と聖神社の間にある畑地になる。なお、本年度は調査のみを実施し、令和8年度にその整理作業を実施する予定である。

2点目、市内の小学生を対象に「夏休み文化財教室」を開催する。これは延べ2日間に渡り、縄文時代の生活を体験する教室となっている。1日目は7月31日(木)と8月1日(金)の2日に分けて、中宮地町のクラブハウス21で土器づくりを行う。2日目は8月7日(木)の午前に、聖地公園グラウンドで1日目に作った土器の野焼きと火おこし体験、聖地公園管理事務所で勾玉づくりをそれぞれ行う。定員は30人で本日より募集を開始したが、受付開始1時間後の9時30分で定員に達したため、受付を終了した。

教育研究所長 : 1点報告する。

6・7月に実施された、学力向上推進委員会についてである。教育研究所主催の第1回学力向上推進委員会及び国語科、算数・数学科、外国語科の各教科研究委員会が開催された。両委員会ともに、授業改善、授業力の向上を重点目標とし、「令和版チチブチャレンジ」の活用、児童生徒の主体的な学習用端末活用、学力調査結果の活用を視点とした授業について研究を進め、その成果を学校間・教員間で共有し、市全体の授業力向上を推進するものである。

第1回の今回は、各担当指導主事と21校の担当教員が会し、今年度の指針と研究内容確認、全国学調のための取組や主体的・対話的で

深い学びの実現に向けた授業改善について、グループで協議する時間を設けた。また、今年度は各教科ごとに、市教委が主導となり各校の専門性の高い教員とともに研究を進めたモデル授業を行う。国語科については吉田小学校、算数・数学科については吉田中学校、外国語科については荒川東小学校で、授業を公開し、市の課題に対応した学習指導案及び研究協議を含めた情報を共有・発信することで、秩父市全体の教員の授業力向上及び児童生徒の学力向上につなげていく。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教 育 長 : 議案第18号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学校教育課長 : 議案第18号「秩父市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第18号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、11件の協議をお願いする。

2 番 委 員 : 小学生対象の絵画教室は、対象人数が10名程度で、内容的に後援しなくてもよいのでは。

教育総務課長 : 過去にも後援実績があり、絵画を始めるきっかけ作りとしては、事業的に問題ないと考える。

2 番 委 員 : きっかけ作りとしては、もう少し大勢の方を集めても良いのでは。

教育総務課長 : 許可の際に、人数が増やせるか確認したい。

4 番 委 員 : 私塾の集客につながるようなものは慎重に審査していただきたい。

教 育 長 : ほかに質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、小学生対象の絵画教室については人数を増やせるかどうかを含めて、申請者に確認していただき、今回は承認するという事で、全ての事業について、後援等を承認することではいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、

事務局には、今後の処理をお願いする。

(2) 8月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 8月教育委員会定例会について、8月21日(木)午後2時から秩父市役所本庁舎3階庁議室において開催することを御提案させていただく。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、8月教育委員会定例会については、8月21日(木)午後2時から、秩父市役所本庁舎3階庁議室にて開催する。

8 その他

事 務 局 : 1点、事務連絡を申し上げる。

この後、教育大綱の素案について総合政策課より説明がありますので、委員の皆様は、お残りいただきたい。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会7月定例会を閉会する。